

## News Release



(別添)

2020年10月22日  
NITE (ナイト)  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
中部支所

誤った使い方で大けがを負うことも  
～はしご・脚立の事故に注意～  
～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) が収集したはしご・脚立<sup>※1</sup>の事故情報<sup>※2</sup>は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では、2010年度～2019年度までの5年間に合計36件<sup>※3</sup>あり、被害状況は重傷19件(53%)、軽傷17件(47%)となっています。

- (※1) ロフト用のはしごや天井収納型のはしごの事故を除く。はしご兼用脚立は、はしご状態として使用したときに発生した事故は「はしご」、脚立状態として使用したときに発生した事故は「脚立」としてカウントする。
- (※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。
- (※3) 2020年8月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

## 1. はしご・脚立の製品事故の発生状況

### (1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1にはしご・脚立の製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 はしご・脚立の「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
2010年度	0	5	0	0	5
2011年度	2	1	0	0	3
2012年度	0	1	0	0	1
2013年度	0	1	0	1	2
2014年度	0	1	0	0	1
2015年度	1	4	1	0	6
2016年度	2	1	1	0	4
2017年度	0	2	0	3	5
2018年度	2	2	2	0	6
2019年度	0	3	0	0	3
合計	7	21	4	4	36

## (2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 にはしご・脚立の製品事故の「県別」及び「被害状況別<sup>※4</sup>」の事故発生件数を示します。

表 2 はしご・脚立の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）

被害状況 <sup>※4</sup>		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	4	8	4	3	19
	軽傷	3	13	0	1	17
物的被害	拡大被害	0	0	0	0	0
	製品破損	0	0	0	0	0
被害なし		0	0	0	0	0
合計		7	21	4	4	36

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## (3) 東海 4 県の製品の年度別 事故発生件数

図 1 にはしご・脚立の製品事故の「年度別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

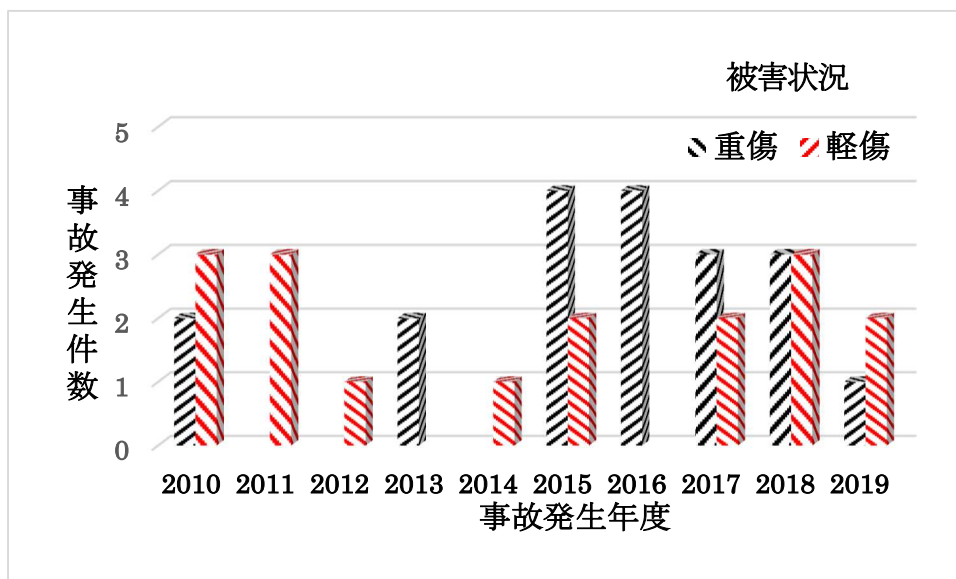


図 1 年度別及び被害状況別の事故発生件数

## (4) 東海 4 県の月別 事故発生件数

図 2 にはしご・脚立の製品事故の「月別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

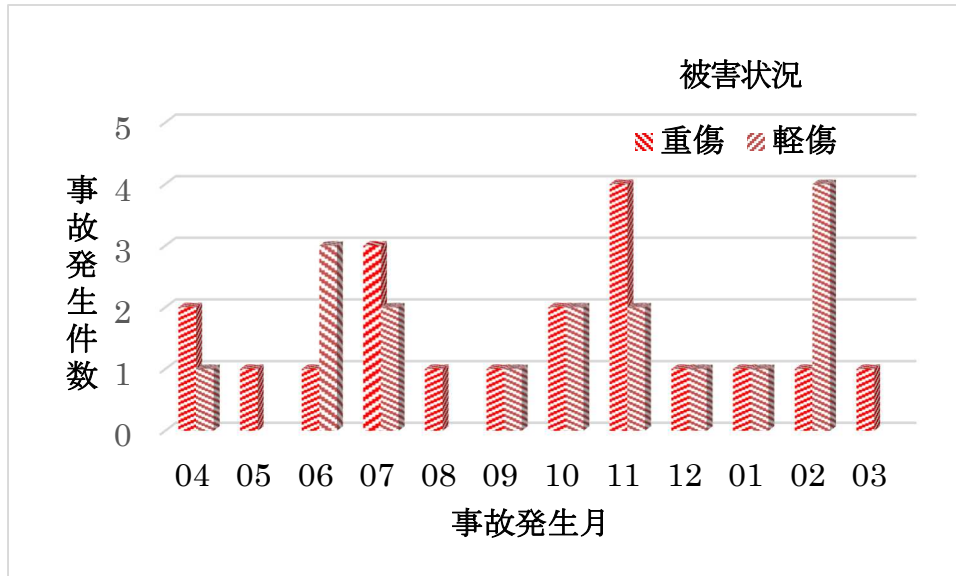


図 2 月別及び被害状況別の事故発生件数

## 2. はしご・脚立の製品事故の事故事例

### (1) 脚立： 不安定な場所で使用、バランスを崩して転倒

2010 年 6 月（愛知県、60 歳代・女性、重傷）

#### 【事故内容】

脚立の天板から降りる際、転倒し、重傷を負った。

#### 【事故原因】

脚立を傾斜面に設置して使用していたため、脚立から降りる際にバランスを崩して転倒し、横倒しになった脚立の支柱端部の上に落下し、重傷を負ったものと推定される。

なお、本体ラベル及び取扱説明書には、傾斜している場所には設置しない、製品から身体を乗り出さない旨記載されている。

### (2) 脚立： バランスを崩して転倒、その他

2017 年 11 月（三重県、60 代・男性、重傷）

#### 【事故内容】

脚立を使用中、転倒し、側腹部に重傷を負った。

#### 【事故原因】

脚立の支柱を完全に開ききらない状態で設置し、天板に乗って作業を行ったため、バランスを崩して転倒して重傷を負ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「脚立を完全に開き、開き止め金具を確実にロックする。」旨、記載されている。

### 3. はしご・脚立の製品事故の実験映像等について

はしご・脚立の製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE（ナイト）・中部支所」としてください。



静止画例 はしご



静止画例 脚立

以上

**(本件に関するお問い合わせ先)**

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 宮川 七重

担当者：横田 勝、横山

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902、携帯：080-3736-7515